

令和7年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

「総 評」

今年の応募作品は、

プリント部門全体	595 点	(前年度 503 点)
「桜の風景」部門	402 点	(前年度 316 点)
「富士山と桜」部門	193 点	(前年度 187 点)
インスタ部門全体	1,669 点	(今年度特設)
合 計	2,264 点	

去る5月19日に3名の審査員により審査が行われました。今年度は、本コンクール50回を記念し、「インスタ部門」が特設され、U-25賞(25才以下対象の賞)は廃止となりました。

近年の写真を取り巻く環境は、インターネット、SNSの広がりから従来のプリントした写真や印刷された写真を見る文化から、画像としてフェイスブック、インスタグラム、Xなどに投稿し楽しむ写真に変わりつつあり、時代に即した写真コンクールとして従来のプリント写真と合わせ、インスタグラム部門の特設となったものです。応募作品もこれにより大幅な増加となっております。

今年度の桜の花の開花時期は昨年よりも少し遅れて、花の咲いている期間も途中気温の低下等で場所によっては長持ちしていたように思われます。撮影される皆さんも撮りやすかったのかもしれませんが、結果としてプリント部門も前年度より92点ほど増加しており、内容的にもレベルの高い作品が多くありました。

尚、毎回のことですが、桜や富士山の撮影では、良い撮影ポイントが限られており毎回同じ場所で撮影した作品が応募されてきて、競争率が高くなり入賞は難しくなりますので、視点を変えた今までにない独創性のある作品を応募されることを希望いたします。

又、プリントの色の調整で写真を強くしたいがために派手な色調にして自然の色を壊している作品などが多く目立ちますのでご注意くださいと思います。



最優秀賞

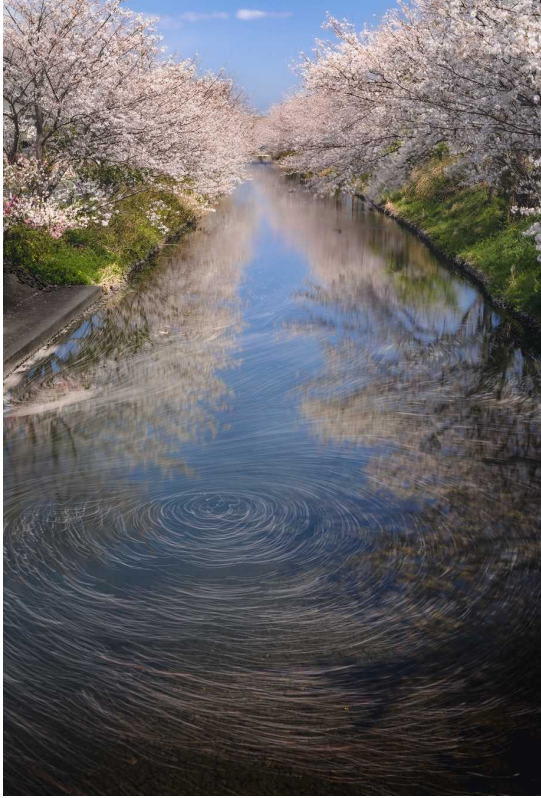
部門	部門共通
作品名	競演の朝
撮影地	御殿場市大堰
撮影者	上野 祐司 (神奈川県足柄下郡箱根町)

<選評>

この作品は御殿場市大堰にて撮影されたものです。桜とレンギョウでしょうか黄色の花の名前は定かではありませんが鮮やかに咲き誇る花を前面に富士山を写しています。

まさに春爛漫のきらびやかな素晴らしい風景写真になっています。富士山も朝日に染まっているのですが、一条の雲の影を有効に生かして平板的になることを避けて変化させています。美しい春の競演が表現されています。画面の構成力、撮影技術なども素晴らしく、秀逸な作品になっています。

「桜の風景」部門



特 選

作品名	春の渦
撮影地	焼津市 黒石川
撮影者	石上 剛也 (島田市)

<選評>

この作品は焼津市の黒石川で撮影しています。

川の両岸に咲く満開の桜、水面に映りこむ桜の花と青空、そして水面に浮かぶ花びらの渦巻、平凡になりやすい川の風景ですが、水の流れに沿って描かれた自然の動きを発見して的確に作品にした感性と撮影技術は素晴らしいと思います。作者の力量を感じさせてくれます。

	準特選	
	作品名	桜が見守る朝をゆく
	撮影地	御殿場市 東山湖
	撮影者	佐藤 友也 (山梨県韮崎市)
	<選評> この作品は御殿場市の東山湖での撮影です。 桜咲く早朝の湖畔の岸边にはサギでしょうか鳥が並んでいます。 朝もやが立ち昇っている中、撮影者に驚いた鳥が2羽飛び立つ瞬間を撮影しています。とっさの撮影なのに画面構成もよく、鳥の形もよく技術的にも大変立派な作品になっていると思います。	
	準特選	
	作品名	満開の桜の下で。
	撮影地	島田市 大津谷川堤防
	撮影者	久保田 政司 (藤枝市)
	<選評> この作品は島田市大津谷川堤防での撮影です。 桜の老木の下で新一年生の子供さんを撮影していますが、よくある記念写真のVサイン的な撮り方でなく、決めたポーズを外して自然な表情を引き出して撮っているところはさすがです。 3人の表情も大変よく、素晴らしい写真になっていると思います。この3人の将来の姿を想像する楽しさもあります。	

「富士山と桜」部門



特 選

作品名 絶景の前に咲く

撮影地 静岡市清水区吉原

撮影者 杉山 國和
(静岡市)

<選評>

この作品は静岡市清水区吉原で撮影しています。

この場所は富士山撮影のポイントの一つで春先の新茶のシーズンには多くのカメラマンが集まる場所です。

今回は茶畑でなく、桜の花を前面に入れて撮影しています。

中景の雲海はこの下を流れる興津川の朝霧が雲海となって美しい風景を演出しています。

良いチャンスをものにした作品で、撮影の技術も的確です。

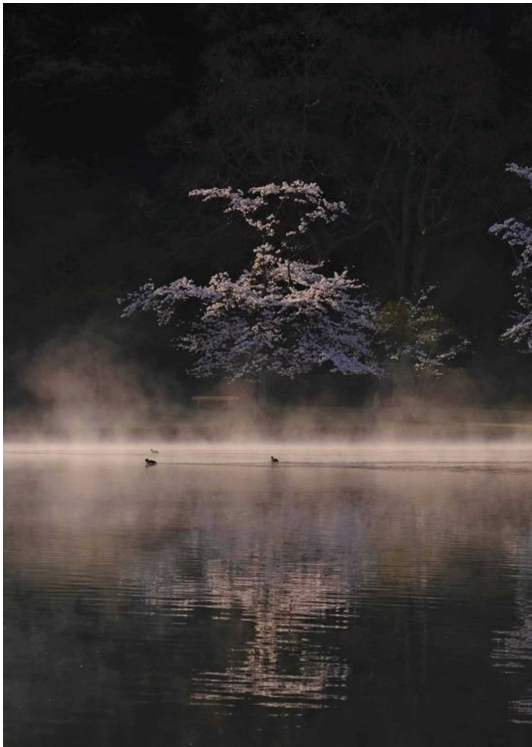
	準特選	
	作品名	幽春の彼方に
	撮影地	伊豆市大沢 達磨山高原
	撮影者	細井 健司 (神奈川県川崎市)
	<選評> 伊豆市大沢の達磨山高原での撮影とのことです。 駿河湾越しに早朝の朝焼けの富士山を捉えています。 朝日が昇り初めて富士山に差し込んだ瞬間で、富士と上空の雲が美しく赤く染まっています。前面の桜には補助光を当てているのでしょうか、明るく浮き上がっています。 桜のボリュームもたっぷり、力強い写真になっています。	
	準特選	
	作品名	陽春の刻
	撮影地	富士市天間
	撮影者	加藤 年一 (富士市)
	<選評> 富士市天間での撮影とのことです。 前景には波打つ茶畑、中景に種類の違う二色の桜、遠景に雪の富士山、いつまでも眺めていられる美しい風景です。 こんな風景をいつも見られる事はこの上ない贅沢だとつくづく思います。静岡県民でとても幸せです。 他の作品も含めてですが、美しい写真をありがとうございます。	

他にプリント部門から10点、インスタ部門から10点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられましたが、一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。

次回の応募作品が増加することを期待いたします。

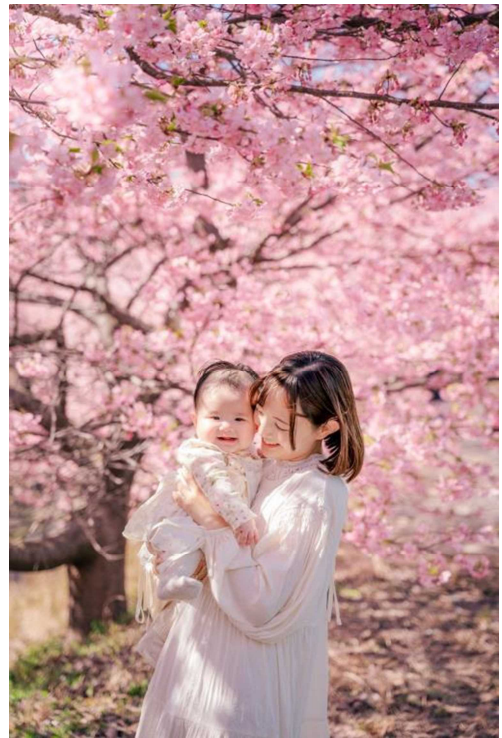
入 選（「桜の風景」部門）



作品名 「伊豆の瞳」の朝

撮影地 伊東市 一碧湖

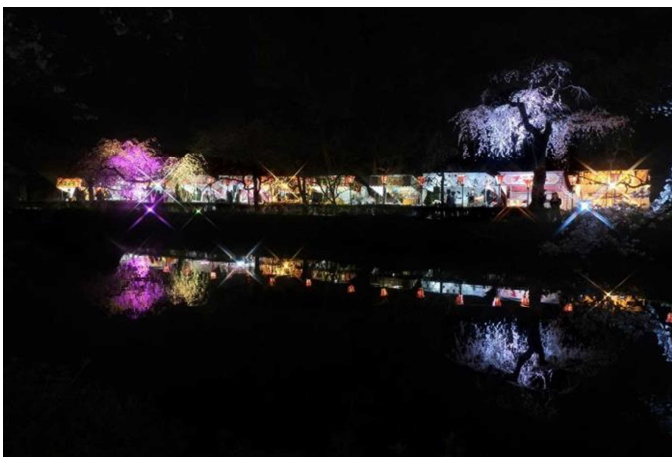
撮影者 武川 哲人（東京都八王子市）



作品名 あなたの笑顔を守りたい

撮影地 浜松市 東大山の河津桜

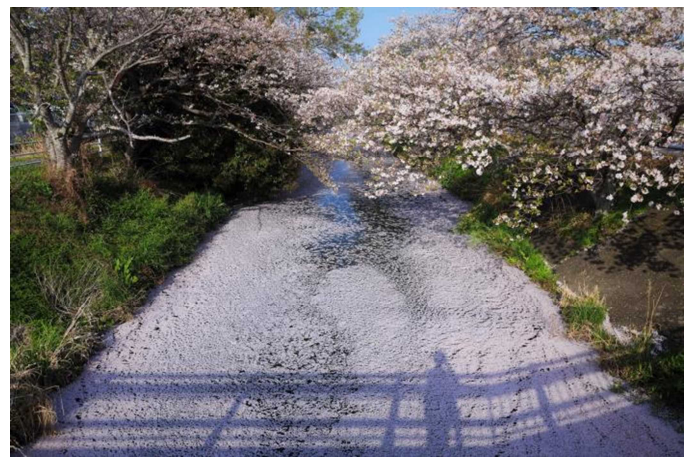
撮影者 花咲 恵里佳（袋井市）



作品名 夜桜光彩

撮影地 三島市 三嶋大社

撮影者 関根 孝治（三島市）

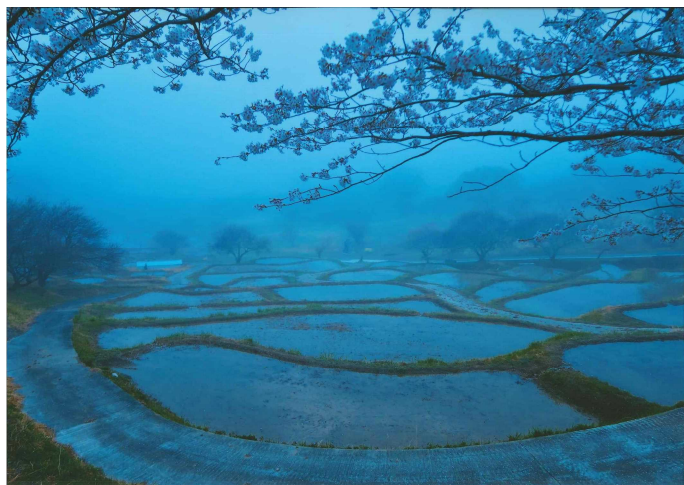


作品名 影とお花見

撮影地 焼津市 黒石川

撮影者 永井 真澄（島田市）

入 選（「桜の風景」部門）

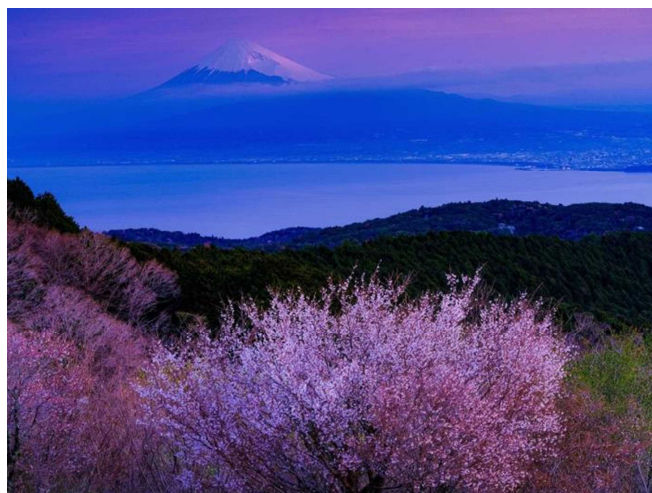


作品名	朝霧に包まれて
撮影地	菊川市倉沢
撮影者	岩澤 幸治（菊川市）

入 選（「富士山と桜」部門）



作品名	紅富士桜
撮影地	裾野市須山
撮影者	岩浅 利泰（御殿場市）



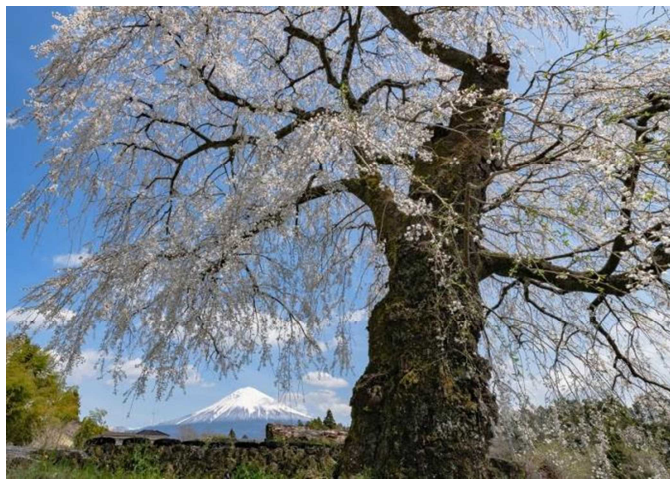
作品名	幻想桜
撮影地	伊東市 達磨山レストハウス
撮影者	筒井 章（伊東市）

入 選 （「富士山と桜」部門）



作品名	桜と富士山の共演
撮影地	富士市 岩本山公園
撮影者	宮崎 泰一（富士市）

作品名	黄昏に映える笠富士と桜
撮影地	富士市 滝戸橋
撮影者	鈴木 悦夫（富士市）



作品名	春を彩るしだれ桜
撮影地	富士宮市 常境寺
撮影者	山下 多津美（静岡市）

入 選 （インスタ部門）



撮影地

菊川市 せんがまちの棚田

撮影地

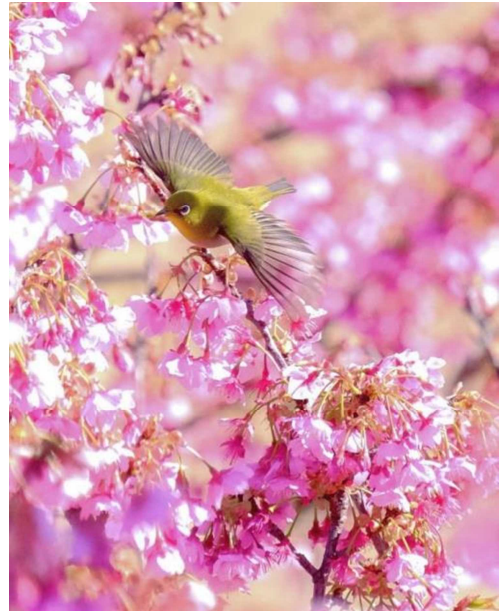
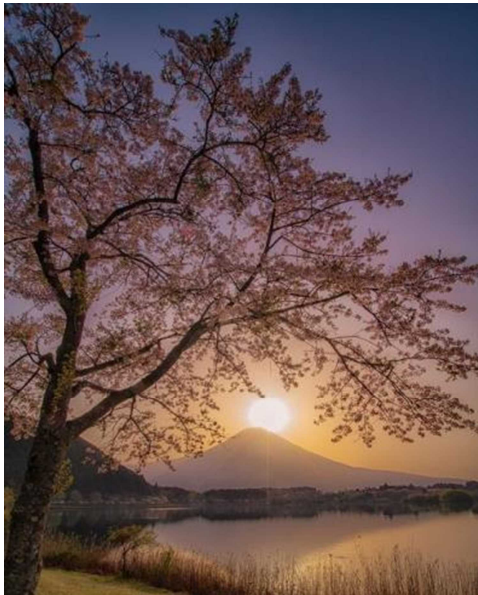
富士宮市

撮影者
(アカウント名)

takki_3104

撮影者
(アカウント名)

fieldnow3



撮影地

富士宮市 田貫湖

撮影地

伊豆市土肥

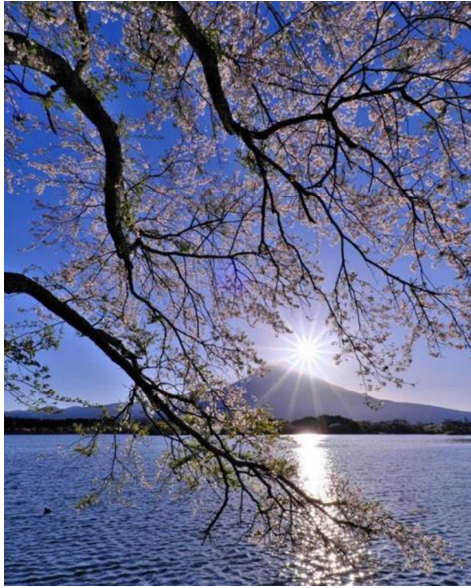
撮影者
(アカウント名)

uppy0084

撮影者
(アカウント名)

fukunaosuke

入 選 （インスタ部門）



撮影地

富士宮市 田貫湖

撮影地

静岡市 栢沢のしだれ桜

撮影者
(アカウント名)

hiroshi_yamamoto_vh

撮影者
(アカウント名)

sansan_3737



撮影地

島田市川根町 牛代の水目桜

撮影地

焼津市

撮影者
(アカウント名)

maru_mi_uchiwaasahina

撮影者
(アカウント名)

rinrin_rin_rinrin_rin

入 選 （インスタ部門）



撮影地	静岡市 円山花木園	撮影地	富士宮市 大石寺
撮影者 (アカウント名)	tezuka. koji	撮影者 (アカウント名)	asuka. luckystar110622_0724

コンクールの審査は、御提出いただいたA4 及び四つ切写真およびインスタグラム上の写真を確認して行っております。

本書に掲載している写真は、応募作品のデータです。応募作品とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。